

新型コロナウイルス感染症重症患者向け移送用車両を 日本医科大学付属病院へ納車

トヨタ車体は、トヨタグループで推進する「ココロハコブプロジェクト*」の一つとして、5月22日に新型コロナウイルス感染症重症患者向けの移送用車両を、トヨタ自動車を通じて日本医科大学付属病院に納車いたしました。(4月30日納車分を合わせて2台目)

当日は、救命救急センター長を始め、医師、消防士など約10名の方に車両の取り扱いや機能の説明を行いました。病院関係者からは、「隔壁や換気ファンがしっかりしていて安心感がある」「重症患者と医療機材を同時に乗せるため、リフトが装備されていて助かる」「後部座席から運転席へのインターホンの設定など運用を良く考えてある」などの声をいただきました。

車両の開発・架装にあたっては、トヨタ車体の特装・福祉事業で培った架装技術やノウハウを活用し、関連会社の東海特装車で架装しました。



新型コロナウイルス感染症重症患者向け移送用車両



日本医科大学病院関係者とトヨタ車体関係者

*「ココロハコブプロジェクト」とは、東日本大震災の被災地を支援するために、全国から「心を運ぶ」という気持ちを込めて、トヨタ自動車、トヨタ販売店及びその従業員が、継続的かつ長期的に実施してきた支援活動の総称です。

今回は、新型コロナウイルス感染症で闘病中の方、日夜奮闘されている医療従事者・政府・自治体関係者の皆様に対して、何か貢献できないかとの思いから、トヨタグループが力を合わせて取り組む支援活動の総称を「ココロハコブプロジェクト」といたしました。

ココロハコブ
プロジェクト

